

## 「銀行業務における人間中心AI」に関する 香川大学との共同研究の実施について

株式会社百十四銀行（頭取 森 匡史）は、国立大学法人香川大学（学長 上田 夏生）（以下「香川大学」）と連携し、「銀行業務における人間中心AI（Human-Centered AI）」に関する共同研究を実施しますので、下記のとおりお知らせします。

従来の銀行業務（事業を営むお客さま向けの融資業務など）では、業務を担う人のスキルや経験に大きく依存する部分がありましたが、本研究では、異なる視点を持つ複数のAIと人との対話を通じて、お客さまの事業を多角的に分析し、成長の可能性や強み、地域社会における価値を発見します。これにより、単なる財務数値だけでは判断できないお客さまの事業の本質的な価値をより深く評価できるようになります。また、判断プロセスを可視化・効率化することで、審査時間を大幅に短縮し、質の高いサービスをより早くお客さまに提供できる体制構築をめざします。

当行は、今後も地域とのパートナーシップを生かした産学の連携を通じ、地域の課題解決に向けた取組みを進め、地域経済の成長と活性化に貢献してまいります。

### 記

#### 【共同研究の概要】

香川大学創造工学部 喜田弘司教授等と、以下の研究を実施します。

研究テーマ	銀行業務における人間中心AI（Human-Centered AI）に関する研究
研究目的	銀行業務の「効率化」と「お客さまへのより質の高いサービス提供」を両立するための新しいAI協働モデルの開発
期間	2025年12月3日（水）～ 2026年11月30日（月）
研究内容	業界動向、企業価値、地域社会といった複数の異なる視点（ペルソナ）を持つAIエージェントが1つの案件に対して多角的に議論するプロトタイプを構築し、行員がAIの議論を監視するだけでなく、議論に参加・介入・質問することで、AIと共に結論を形成していく「対話型審査プロセス」を確立します。

以上